

平成27年度 事業計画

昨年4月、国は17年ぶりに消費税を5%から8%へと改定し、財政の健全化に向けて始動の緒に就きました。しかし、その後の景気判断の上に立って、2段階目の10%改定を平成29年4月まで1年半の延長を決断し、慎重な対処をしています。

この甲斐あって、景気は好転の兆しを継続しており、当シルバーにおいても昨年度の契約実績は、お客様のご理解と会員諸氏の協力の下、消費税改定の影響を除いても、対前年度で増加の傾向にあります。

本年度、国は今までのシルバー事業に対する運営補助を縮小する一方で、雇用勘定を活用した事業補助へのシフトを打ち出しました。このことは、それぞれのシルバーで如何に派遣事業を開拓していくかなど、創意工夫が求められるものと考えています。

当シルバーでも役職員が知恵を出し合い、会員と協働・連携する中で、派遣事業の拡大など、会員の就業機会の多様化・拡大という結果を出して行かなければなりません。このように、超高齢社会が進む中にあって、シルバー事業の真価が問われる1年となってきます。

また、本年度は、職員による不祥事件以来、関係機関の指導・監督の下に、シルバー再生に本気で取り組まなければなりません。

この重要な年に、会員・役員そして職員が一体となって、昨年度からの当シルバーの上昇傾向を引き継ぎ、ワンコインサービス事業の試行など、事業の活性化と運営の安定化を図って、真に地域社会に必要とされるシルバー再生に取り組んでまいりましょう。

1 基本方針

- (1) 就業機会の拡大
- (2) 会員の拡大
- (3) 安全・適正就業の推進
- (4) 事業運営の効率化及び財政基盤の安定
- (5) 福祉・家事援助サービスの実施
- (6) 会員による自主的運営体制の確立
- (7) 長崎県シルバー人材センター連合会との連携

2 事業実施計画

(1) 就業機会の拡大

○役員による就業開拓

- ①理事による就業開拓を継続します。
- ②昨年の協力に引き続き、地域班・職群班の役員による就業開拓を目指します。

○地域や企業のニーズの把握

- ①ニーズ把握のためのアンケートの実施を行います。
- ②訪問による発注者・利用者等の意見等の聴取に努めます。

○全会員へ就業開拓取組みの検討

- ①全会員による就業開拓運動として「会員1人1仕事紹介運動（仮称）」展開への検討を深めます。

(2) 会員の拡大

○新規会員の加入促進

- ①理事による定期的な本部及び地区説明会の継続に努めます。
- ②会員による口コミの加入促進について、丁寧な説明を行いつつ協力を求めます。

○普及啓発活動の推進

- ①公益社団法人としての取組みをPRしつつ、センター事業の理解と協力を得ることに努めます。
- ②各種広報物を活用した町内会を始めとする適宜の情報発信に努めます。
- ③シルバー人材センター事業の普及啓発促進月間（10月）及びシルバーワーク（10月第3土曜日）を中心とした広報活動に取り組みます。

(3) 安全・適正就業の推進

○安全就業の推進

- ①安全衛生委員会等による就業現場の定期的及び臨時的な巡回指導と安全用具着用励行の徹底に努めます。
- ②各種研修会、講習会及び巡回指導時などにおける安全講話の実施に努めます。
- ③全会員に対する「安全だより」の配布を行うとともに、健康診断の受診を奨励します。

○適正就業の推進と公平な就業機会の提供

- ①法令及び要綱を遵守した就業体制の構築、改善に努めます。

- ②意識の高揚と適正受注の推進に努めます。
- ③適正かつ公平な就業機会の提供を推進します。

(4) 事業運営の効率化及び財政基盤の安定

- 経費節減の徹底と事務効率化の推進
 - ①全ての経費について更なる見直しと節減に努めます。
 - ②事務の見直しを含めた効率化を引き続き図ります。
- 財政基盤の安定
 - ①自主的かつ自立的事業運営を図るために、公共契約の継続確保と民間契約の確保と拡大に努めます。
 - ②経営の視点に立った職員の意識改革に努めます。

(5) 福祉・家事援助サービスの実施

- ワンコインサービス事業（新規）の試行
 - ①地域に理解を得るため、町内回覧・各種団体への周知そして会員の就業を通したPR等など、その普及啓発に努めます。
 - ②より多くの協力会員登録と事業現場での試行錯誤を積み重ねることによって、当事業の本格実施を目指します。
- 就業における保育サービス分野の強化・育成
 - ①今後の少子化と就労人口の減少を見据えた保育サービス分野の講習開催を目指します。

(6) 会員による自主的運営体制の確立

- 理事会・専門部会（総務、事業、配分金、広報、安全・衛生）及び各専門委員会活動の強化に努めます。
- 受注業務の円滑・敏速な対応を図るため、職群班の機能の充実に努めます。
- 職群班の総会、地域別ブロック研修会の自主的開催に努めます。

(7) 長崎県シルバー人材センター連合会等との連携

- 上記各項目を推進するために、長崎県シルバー人材センター連合会や県内各拠点シルバーとの情報交換を始めとする連携を強化します。
- シニアワークプログラム事業や高齢者活躍人材育成事業（仮称）の推進に長崎県シルバー人材センター連合会と連携しながら取組みます。

○ 目指す数値

項目	目標数値	備考
会員数	1,400人	平成27.3.1現在 1,303人
受注件数	5,900件	平成25年度 5,846件
契約金額	4億3,100万円	平成25年度 4億1,210万円
就業率	72.5%	平成25年度 71.0%